



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	文脈多重性を特徴とするソーシャルファブ리케이션のエスノグラフィー : 実践と学習の理解のために
Author(s)	渡辺, 謙仁; 田邊, 鉄
Relation	日本教育工学会研究会 No. 12-5. 2012年12月15日(土). 東京学芸大学, 東京都.
Issue Date	2012-12-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/50930
Type	conference presentation
File Information	jset12-5.pdf



文脈多重性を特徴とする ソーシャルファブリケー ションのエスノグラフィ

—実践と学習の理解のために—

渡辺謙仁*

田邊鉄**

北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院*
北海道大学情報基盤センター**

日本教育工学会研究会 No.12-5
2012年12月15日(土)@東京学芸大学



目次

1. 研究の背景
 2. 目的
 3. 方法
 4. 結果と考察
 5. まとめと今後の課題
- 

研究の背景

ソーシャルメディアに媒介された社会的実践が近年盛ん

- 東日本大震災におけるTwitterを駆使した支援（永井・福田 2012）
- n 次創作（濱野 2008）

「ソーシャルラーニング」（ビンガム・コナー 2012）にも注目が集まる

- 物理的実体を持たないものを扱う教育実践（山内ほか 2011）

「あの楽器」に見る ソーシャルファブリケーション

生日おめでとう

いいよw

あの楽器きた



そして、この曲が辿った数奇な運命を知るためにも、タグから大百科へどうぞ。
この動画の原曲 Innocence (KazuP) は2007年12月21日に投稿された。



kellow (2008)

初音ミクが見た
こともない楽器
を弾いている...

動画に出てくる
「あの楽器」が
欲しい！



アーケードP (2010)

ソーシャルファブリケーション

物理的実体を持った人工物の
「協同」制作

文脈多重性を特徴とする
「ソーシャルメディア衛星開発
プロジェクトSOMESAT」



目次

1. 研究の背景
 2. 目的
 3. 方法
 4. 結果と考察
 5. まとめと今後の課題
- 

目的

- 実際のフィールド観察に基づき、SOMESATにおける実践と学習の全体像を把握すること



目次

1. 研究の背景
 2. 目的
 3. 方法
 4. 結果と考察
 5. まとめと今後の課題
- 



方法

3.1. 調査対象

3.2. 調査手続き

調査対象



ソーシャルメディア
などで集まった人達
で超小型衛星を開発
し、打ち上げる

ニコニコ技術部が
発祥

初音ミクなどのキャ
ラクターを搭載し、
宇宙でパフォーマンス
をさせる

ソーシャルメディア
と連動した
ミッション

社会の反応を調べる

宇宙を身近にする
ことを狙う

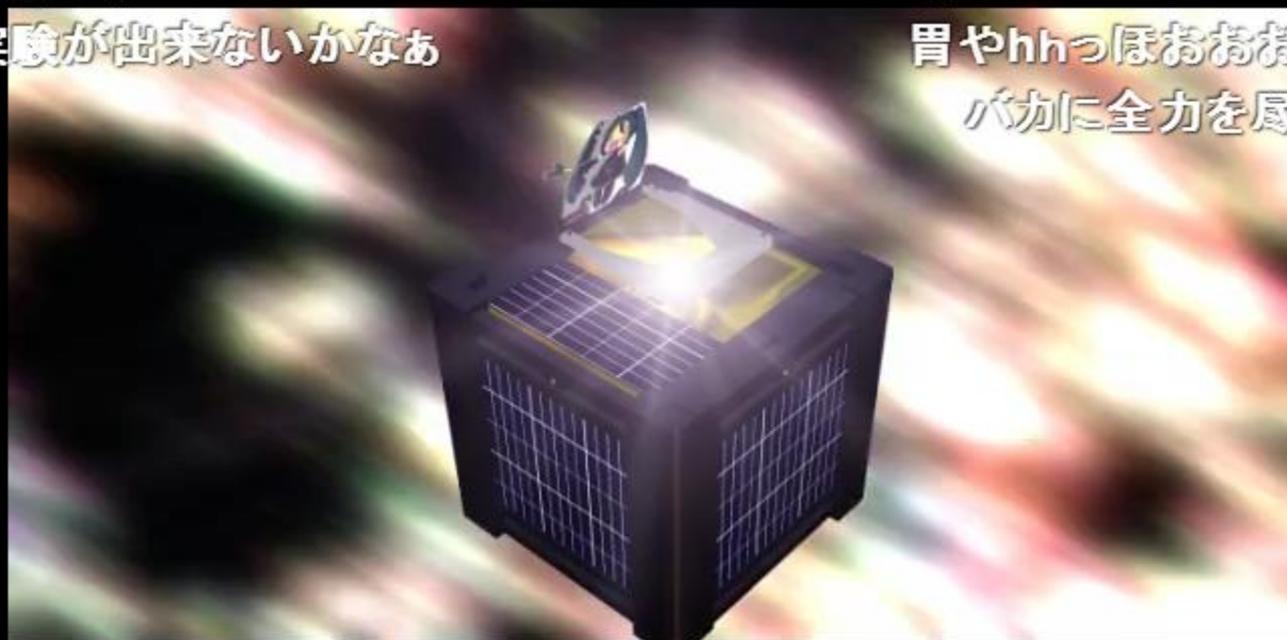
超小型衛星のイメージ

宙の う!

失敗が出来ないかなあ

う

胃やhhっほおおおま
バカに全力を尽く



ussy (2010)

事実上、出入りが自由で メンバーが入れ替わる場

IRC

ニコニコ生放送

オフラインの勉強会や
食事会

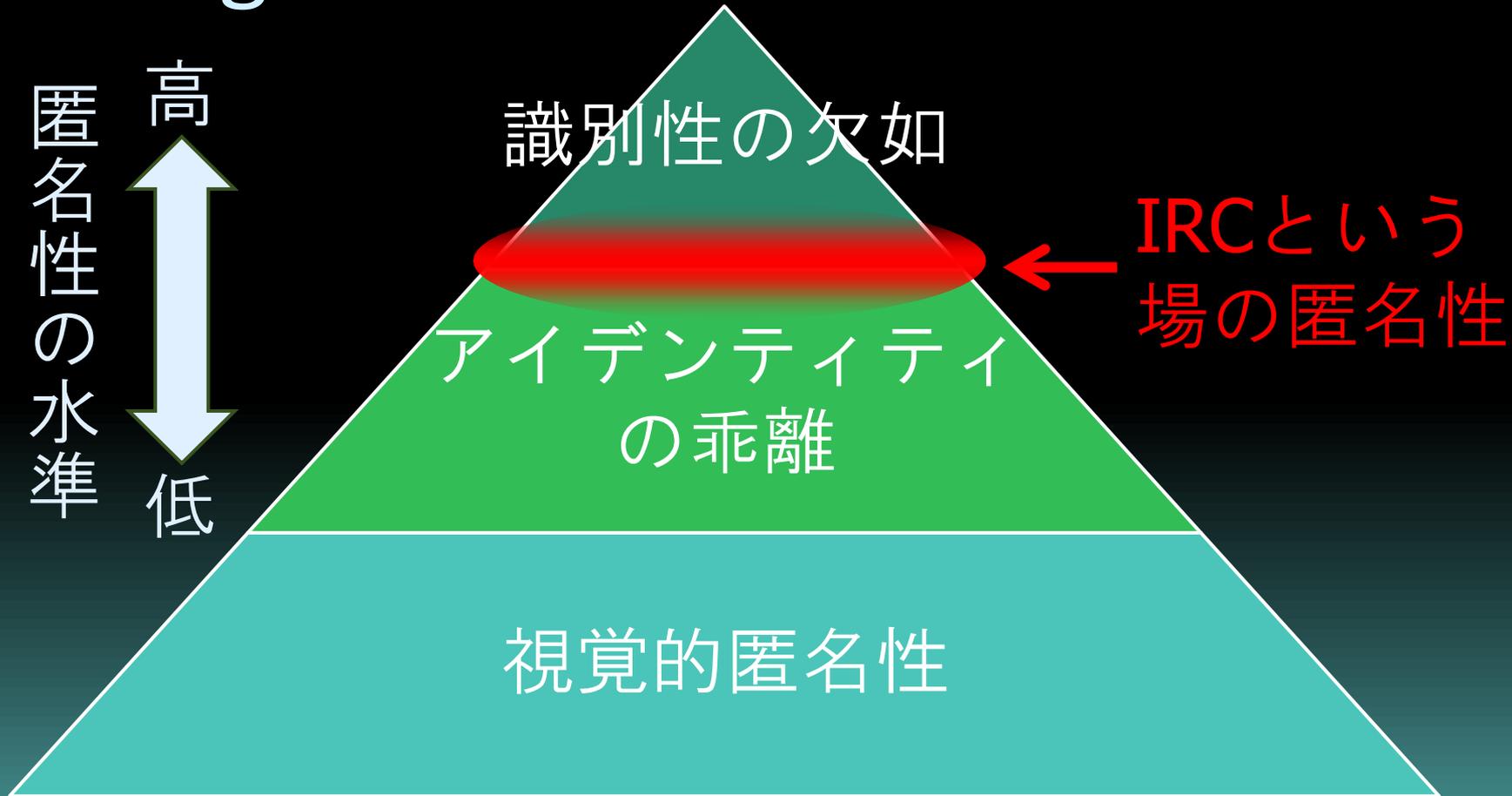
同人誌即売会や電子工作
の展示会



IRCという場

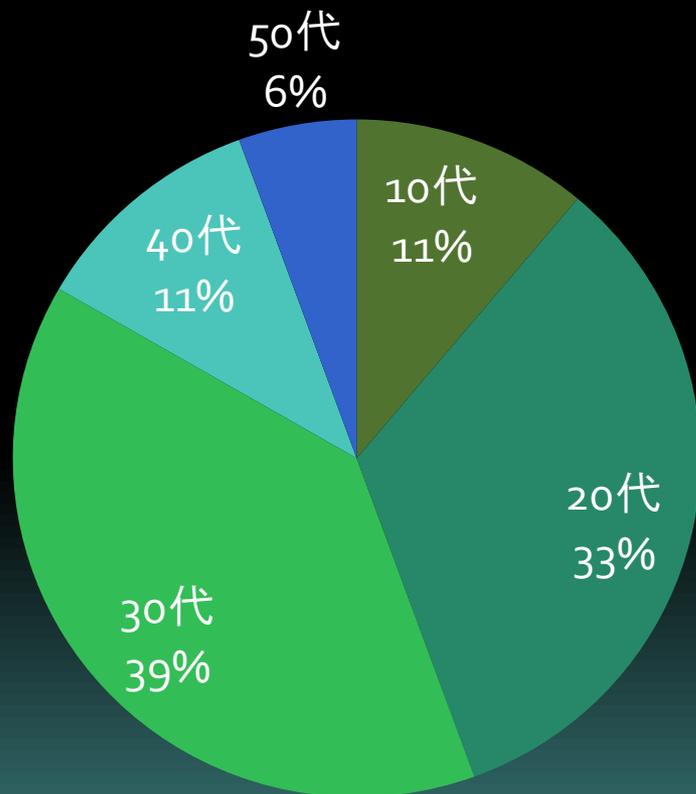
- ニックネームを確認したメンバーは約50人
- オフラインで会ったことがあるメンバーは約25人
- ログインしなくても過去ログを閲覧可能

種々の匿名状態の階層構造 (Morio and Buchholz (2009) のFig. 1を改変)

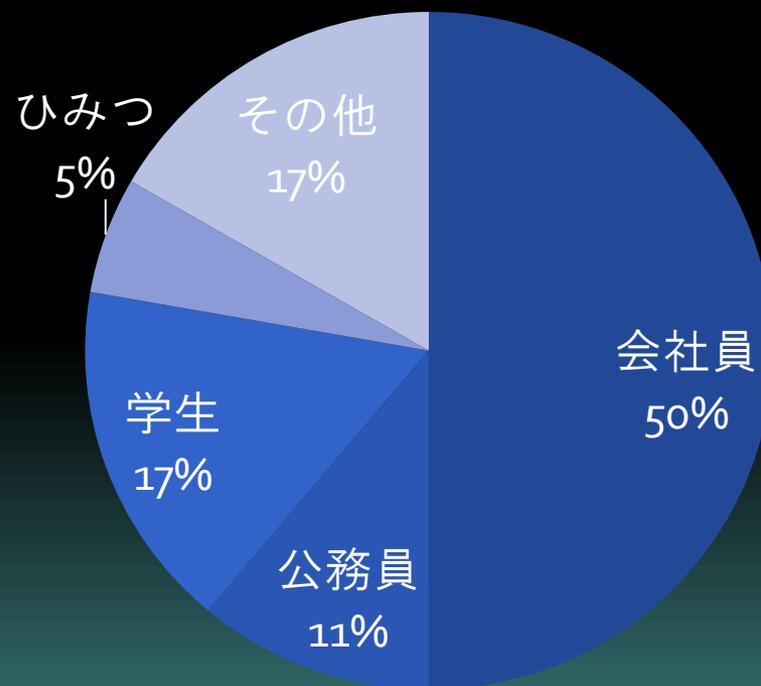


2011年2月の質問紙調査の結果 (N=18) (渡辺 2011)

年齢 (何歳代かで質問, M=27)



職業 (自由記述)



性別は全員男性



方法

3.1. 調査対象

3.2. 調査手続き

調査手続き

2010年9月から
2012年10月まで
フィールドワーク

現場での出来事、
疑問点や暫定的な
考察などを記録

インフォーマル
インタビュー

関連資料収集



目次

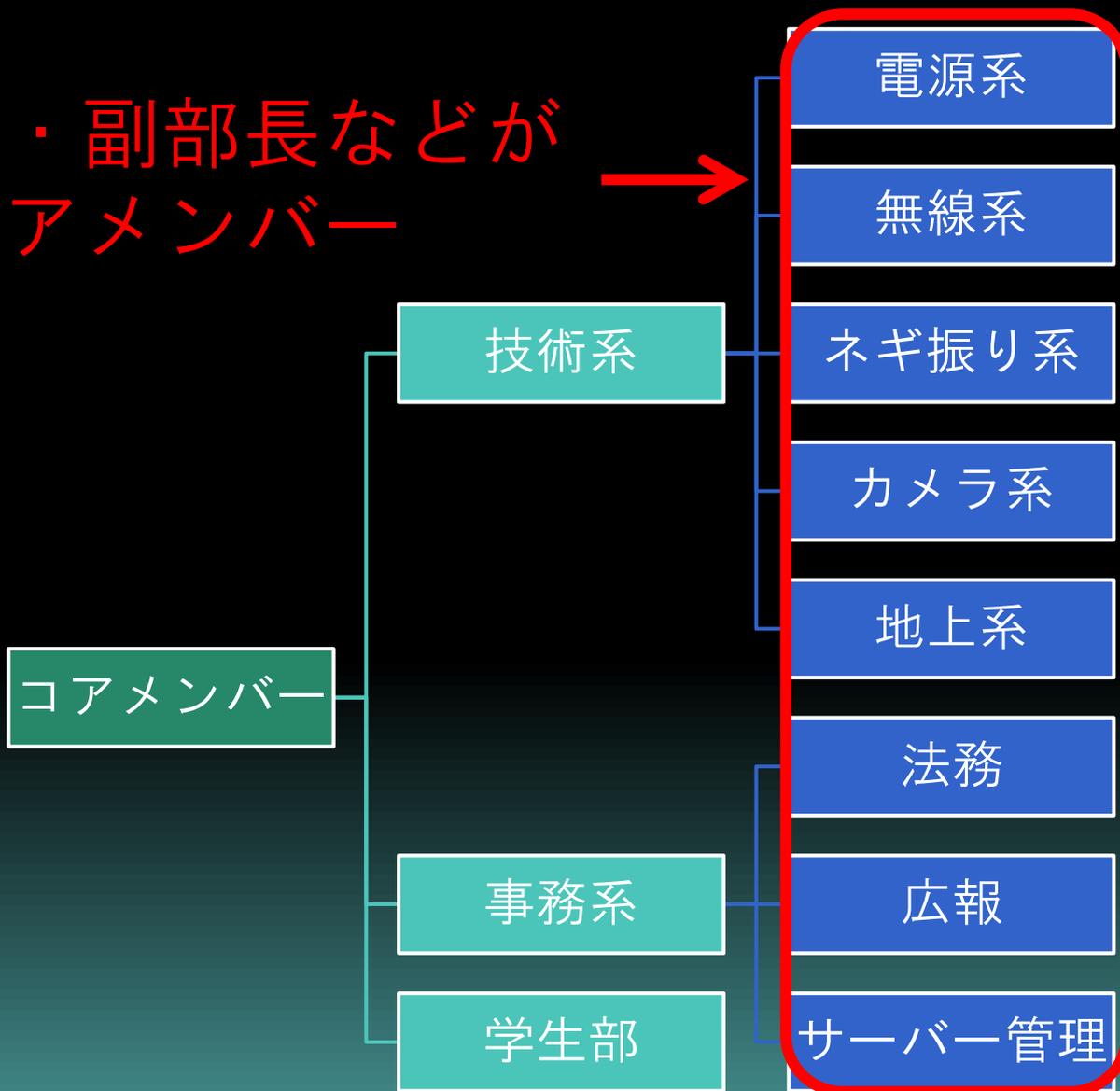
1. 研究の背景
 2. 目的
 3. 方法
 4. 結果と考察
 5. まとめと今後の課題
- 

結果と考察

- 4.1. リーダーシップと制度的な役割分担
- 4.2. 意思決定システムと実践内容に関する所有者意識
- 4.3. 単純接触効果と社会的存在感の観点から見たルーチンワークと不定期イベントの機能
- 4.4. 管理されない自発的で多発的な活動
- 4.5. 参加動機を形成する文脈の多様性と多重性、それによる「プロジェクト」化

リーダーシップと制度的な役割分担

部長・副部長などが
準コアメンバー



結果と考察

- 4.1. リーダーシップと制度的な役割分担
- 4.2. 意思決定システムと実践内容に関する所有者意識
- 4.3. 単純接触効果と社会的存在感の観点から見たルーチンワークと不定期イベントの機能
- 4.4. 管理されない自発的で多発的な活動
- 4.5. 参加動機を形成する文脈の多様性と多重性、それによる「プロジェクト」化

意思決定システムと 実践内容に関する所有者意識



習慣が流動的に移り変わっていくことも

結果と考察

- 4.1. リーダーシップと制度的な役割分担
- 4.2. 意思決定システムと実践内容に関する所有者意識
- 4.3. 単純接触効果と社会的存在感の観点から見たルーチンワークと不定期イベントの機能
- 4.4. 管理されない自発的で多発的な活動
- 4.5. 参加動機を形成する文脈の多様性と多重性、それによる「プロジェクト」化

SOMESATで用いられている各接触機会

接触機会	頻度	コミュニケーション形態	参加人数
IRC	毎週末	文字	最も多い
ニコニコ生放送	少なくとも ほぼ2週間に1回	声と文字（コメント）	多くとも数人の 出演者と 数十人の視聴者
オフラインでの 会合	不定期	身体	多くとも十数人

結果と考察

- 4.1. リーダーシップと制度的な役割分担
- 4.2. 意思決定システムと実践内容に関する所有者意識
- 4.3. 単純接触効果と社会的存在感の観点から見たルーチンワークと不定期イベントの機能
- 4.4. 管理されない自発的で多発的な活動
- 4.5. 参加動機を形成する文脈の多様性と多重性、それによる「プロジェクト」化

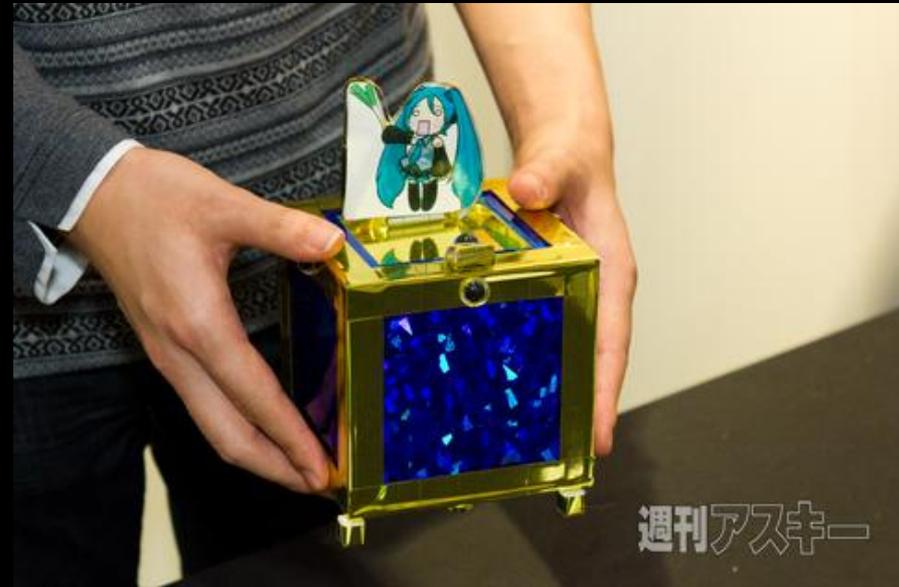
管理されない自発的で多発的な活動

管見の限りでも...



BeDai (2009)

PVは4つ



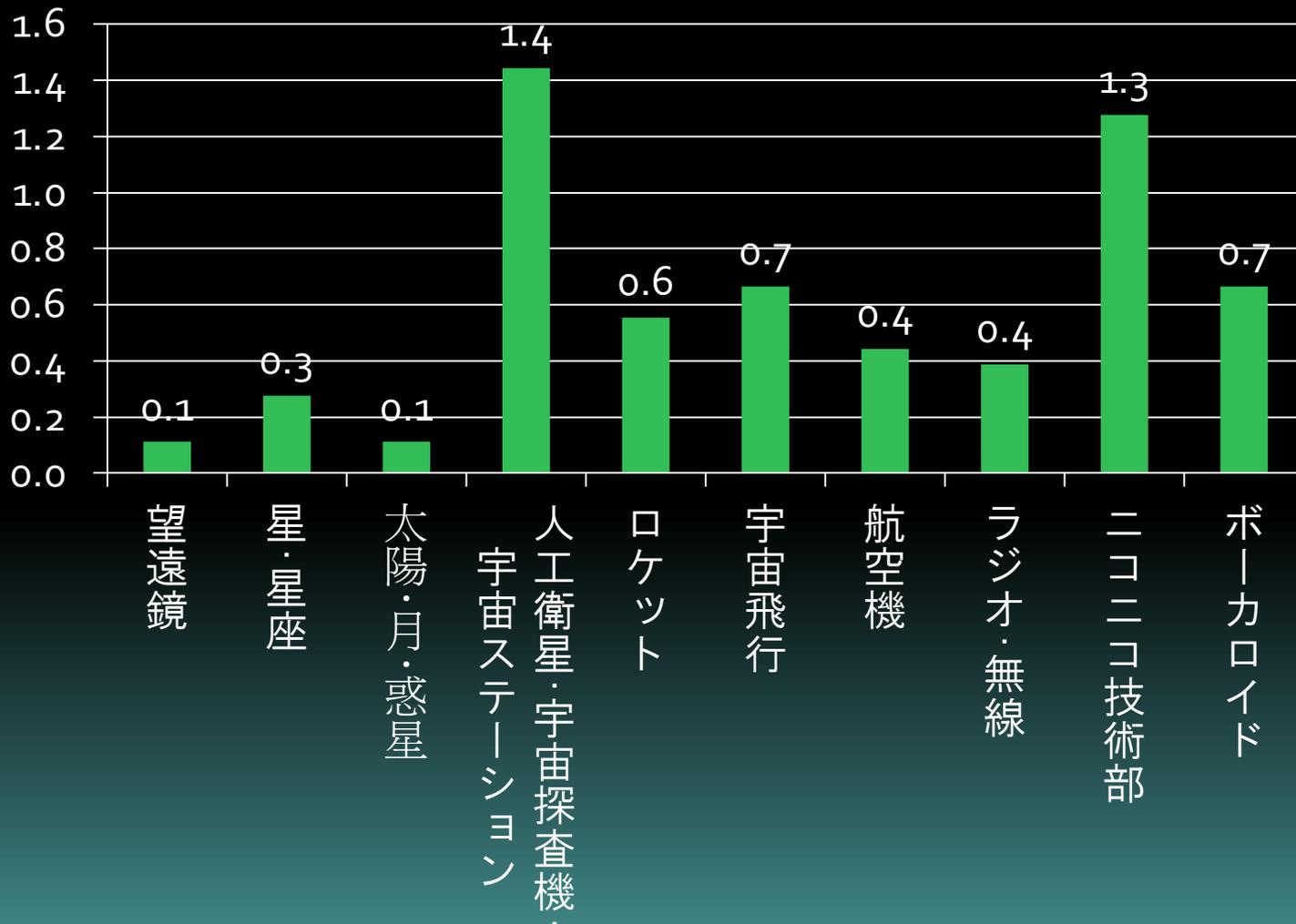
秋山(2012)から引用
実物大模型は5つ

週刊アスキーの
取材も受けた

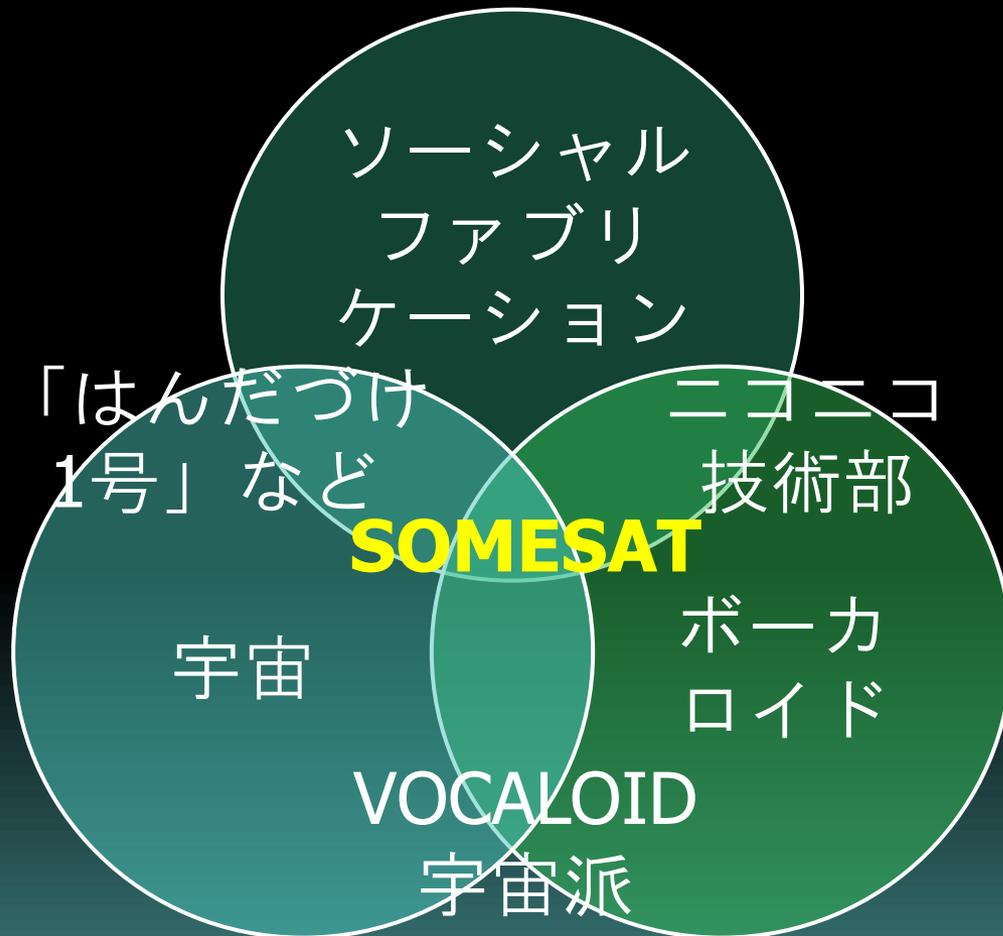
結果と考察

- 4.1. リーダーシップと制度的な役割分担
- 4.2. 意思決定システムと実践内容に関する所有者意識
- 4.3. 単純接触効果と社会的存在感の観点から見たルーチンワークと不定期イベントの機能
- 4.4. 管理されない自発的で多発的な活動
- 4.5. 参加動機を形成する文脈の多様性と多重性、それによる「プロジェクト」化

特に興味を持つものの1位から3位の加重平均 (N=18) (渡辺 2011)



SOMESATの文脈多様性・多重性





目次

1. 研究の背景
 2. 目的
 3. 方法
 4. 結果と考察
 5. まとめと今後の課題
- 

まとめ

- 5つの観点からSOMESATの特徴を抽出し、考察を加えた。
- 実践と学習の具体的な関係は、必ずしも明確にならず。

今後の課題

- ワークに埋め込まれた学習（池谷 2011）のあり方を明らかにするエスノメソドロジー的研究
- 「文脈多重性・多様性」と「各メンバーの参加・学習の軌道」の相互作用のインタビューを通じた探索



謝辞

ソーシャルメディア衛星開発プロジェクト
SOMESATの皆様を始め、ご協力頂きました
方々に心から感謝いたします。

参考文献 (1)

秋山文野 (2012) 「宇宙で、初音ミクに、ネギを振らせたい。」 民間衛星プロジェクトSOMESAT開発者インタビュー. 週刊アスキーPLUS
<http://weekly.ascii.jp/elem/ooo/ooo/096/96023/> (参照日 2012.11.4)

アーケードP (2010) あの楽器を作ってみたの.
<http://www.nicovideo.jp/watch/sm9911765> (参照日 2012.12.10)

BeDai (2009) 【宇宙的PV】Escape by ジミーサムP 【HAXA応援動画】.
<http://www.nicovideo.jp/watch/sm6387174> (参照日 2012.11.4)

濱野智史 (2008) アーキテクチャの生態系——情報環境はいかに設計されてきたか. NTT出版, 東京

はんだづけ1号のページ. <http://handazuke.org/> (参照日 2012.11.4)

池谷のぞみ (2011) ワークに学習を埋め込む：ワークの研究に基づくOJTの再考. 日本教育工学会論文誌, 35(Suppl.): 189-192

kellow (2008) 【初音ミク】Innocence 【3DPV】.
<http://www.nicovideo.jp/watch/sm5480792> (参照日 2012.12.10)

Morio, H. and Buchholz, C. (2009) How anonymous are you online? Examining online social behaviors from a cross-cultural perspective. Journal of AI & Society, 23 : 297-307

参考文献 (2)

永井睦美, 福田豊(2012) ICTの発展によるオタクコミュニティの変化と協働.
2012年社会情報学会 (SSI) 学会大会研究発表論文集, pp.141-144

ニコニコ技術部. ニコニコ大百科<http://dic.nicovideo.jp/a/ニコニコ技術部> (参照日2012.11.4)

ニコニコ技術部IRC過去ログ. http://irc.nicotech.jp/~akira/nicotech/log_view.php
(参照日2012.11.4)

SOMESAT Wiki. <http://j.nicotech.jp/somesat> (参照日2012.11.4)

トニー・ビンガム, マーシャ・コナー (著), ダニエル・ピンク (序文),
松村太郎 (監訳), 山脇智志 (翻訳) (2012) 「ソーシャルラーニング」入門
ソーシャルメディアがもたらす人と組織の知識革命. 日経BP社, 東京

ussy (2010) 【第5回MMD杯本選】 ちょっと宇宙行ってくる! SOMESAT PV.
<http://www.nicovideo.jp/watch/1282384008> (参照日2012.10.24)

VOCALOID宇宙派. ニコニコ大百科<http://dic.nicovideo.jp/a/VOCALOID宇宙派>
(参照日2012.11.4)

渡辺謙仁(2011) ソーシャルメディア衛星開発プロジェクトSOMESATの質問紙調査.
日本天文学会2011年秋季年会発表ポスター

山内祐平, 北村智, 椿本弥生, 御園真史, 大辻雄介, 鈴木久(2011) ソーシャルメディアを利用したキャリア学習環境. 日本教育工学会第27回全国大会講演論文集, pp.943-944